

県立石岡第二高等学校学校関係者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見等
1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	㉠ 妥当である B おおむね妥当である C あまり妥当でない D 妥当でない	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の実態をよく把握して評価している。 ・生徒一人一人のために教職員の方々の日々の努力が感じられる。アクティブラーニングを取り入れた授業改善に努めていることを評価したい。 ・よく努力されていると思う。
2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	㉠ 妥当である B おおむね妥当である C あまり妥当でない D 妥当でない	<ul style="list-style-type: none"> ・わかる楽しさを実感できることは学校生活の楽しさ,積極的諸活動,基本的な生活習慣等生徒の成長・発達・人格形成に大きな力となるものであり,学校一体となって取り組んでいることは大変評価できます。 ・学校の自己評価表の評価結果は妥当である。現状を公正に判断していることが次年度への期待につながる。 ・よく努力されていると思う。
3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか	㉠ 十分把握している B おおむね把握している C あまり把握していない D 把握していない	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの課題と実践状況をよく分析し適切に把握しています。 ・生活デザイン科の専門性を踏まえた工夫,特に資格取得の向上,進路や就職の向上に期待したい。全体的に学力向上については改善傾向にあるが,今後も継続してほしい。 ・よく努力されていると思う。
4. 学校の改善方策への対応は適切か	㉠ 適切である B おおむね適切である C あまり適切でない D 適切でない	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の努力は評価できる。生徒指導件数の減少に引き続き指導願う。 ・文章からだけでは具体的にどうするかがよくわかりません。 ・国公立大合格など明確な目標を掲げ,今後の向上に期待します。 ・この項目を一層強化し,生徒が大勢集まる学校になりましたら,素晴らしいことです。
5. 学校の活動が地域社会と連携しているか。指標として、学校の活動が地域住民に知られているか。	A 適切である ㉠ おおむね適切である C やや不十分である D 不十分である	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動の成果をいっそう上げるためには,地域・保護者との連携は欠かせない。積極的な配信、広告塔としての意義などとても大切な取組がなされています。 ・郷土学習事業は地域を知ることによって現在を考えられる。歴史ボランティアとの交流や石岡市長への提案書提出などの活動は評価できる。 ・ボランティア、インターンシップなどにより地域との関わりを積極的に行っていることがうかがえる。新聞やHPによって活動が発信され,効果的に作用していると思う。 ・この分野を強化し,生徒が集まる学校になりましたら素晴らしいことです。

※ 「学校関係者評価」は、学校の自己評価結果をふまえて行うこととします。学校関係者評価における評価者とは、各学校の生徒の保護者や、各学校の教職員を除いた学校と直接の関係のある者及び大学教員等の学校と直接の関係を有しない有識者とし、学校評議員も評価者に含まれます。